

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年8月17日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアド・サイエンシズとTango Therapeutics社 オンコロジー領域の戦略的提携を拡大

—ギリアドは1億2,500万ドルの契約前渡金を支払い、2,000万ドルの株式投資を行う—
—契約に基づき、ギリアドは最大15種類の創薬標的に対するオプション権を持ち
1プログラムあたり総額最大4億1000万ドルを支払う—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）とTango Therapeutics（以下「タンゴ」）は本日、がん患者の免疫回避機構を標的とする革新的治療薬の創薬、開発と商業化に特化した戦略的提携契約を拡大することを発表しました。

今回拡大した複数年にわたる提携契約は、2018年に締結した契約に基づくもので、タンゴは引き続き、同社が有するCRISPR対応の機能的ゲノミクスの標的発見プラットフォームを活用し、免疫回避機構における新たな創薬標的の特定を進めます。契約の対象とする創薬標的の数は、従来の5個から15個に拡大します。ギリアドは今後7年間にわたり、これらの標的を検討するプログラムについて全世界での権利を行使するオプション権を有します。また、ギリアドは、タンゴに対してオプション延長料を支払うことで早期臨床開発段階を通じて活動を主導し、これによりギリアドがオプション権を保持する権利を有します。タンゴは、米国内で最大5件のプログラムについてリード化合物の共同開発と共同拡宣を行うオプション権を有します。

ギリアド・サイエンシズの研究担当エグゼクティブ・バイスプレジデントのウィリアム・A・リー（William A. Lee, PhD）は、「2年前の契約締結以降、私たちは連携活動の生産性や、このパートナーシップにより得た科学的発見の質に非常に満足しています。今後もタンゴと連携してがんのコンテキストに依存したスクリーニングをさらに行い、私たちのがん免疫戦略に基づきさらに幅広く標的を特定していきたいと考えています。」と述べています。

Tango Therapeuticsの社長兼最高経営責任者（CEO）のバーバラ・ウェバー（Barbara Weber, MD）は、「ギリアドは、重要な戦略的パートナーであるとともに、強力な共同研究者でもあります。私たちはこのさらに幅広い連携の下で創薬標的のバリデーションを行い、プログラムをさらに進めていく日を楽しみにしています。私たちのプラットフォームの生産性は高く、連携に供する多数の標的を作成しつつ、標的のそれぞれについて創薬と開発を続行し、治療法の変化をもたらすような新薬を患者さんにお届けするという共通の目標に向かって前進することができます。」と述べています。

この連携契約には、来年に試験用新薬（IND）申請を予定しているプログラムなどの、タンゴの主導で進めているプログラムは含まれていません。また、タンゴは免疫回避機構以外の創薬標的を特定する権利を保有し、自社が完全に所有するパイプラインの構築を引き続き進めます。

連携契約の条件に基づき、ギリアドはタンゴに対して1億2,500万ドルの契約前渡金と2000万ドルの株式投資を行います。また、ギリアドは、7年間の連携期間中に最大15のプログラムに対してオプション権を持ち、1プログラムあたりオプトイン、延長およびマイルストーン支払金として最大4億1000万ドルを支払います。タンゴは、純売上高に対し、最大で2桁台前半の段階的ロイヤルティを受ける権利を有します。タンゴが共同開発と共同拡宣を行うことを選択した製品については、両社は米国における利益、損失と開発費を折半し、米国外での売上に対してはタンゴがマイルストーン支払いロイヤルティを受け取る権利を有します。

Tango Therapeuticsについて

Tango Therapeutics社は、新たな創薬標的を発見し、がん患者さんに次世代の分子標的治療薬をお届けするために活動しているバイオテクノロジー企業です。患者さんに始まり患者さんに終わるアプローチに基づき、タンゴはsynthetic lethality（合成致死）の原理を活用し、がんのドライバー遺伝子を標的とする治療薬の発見と開発を進めています。当社は、腫瘍抑制遺伝子の喪失の阻止、がん細胞の免疫逃避の阻止、ならびに単剤療法より効果の高い新規併用療法の特定の3領域に力を入れています。2017年の創業以来、総額で1億6,500万ドルの資金を調達してきました。また、タンゴはギリアド・サイエンシズと2件の戦略的連携契約を締結し、総額で1億7,500万ドルの契約前渡金を受け取りました。詳細については、<http://www.tangotx.jp/>をご覧ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオ医薬品企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細は、www.gilead.comをご覧ください。

ギリアドの将来予想に関する記述

本プレスリリースは、1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスク、不確定要素、およびその他の要因を含む場合があります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述のみに依拠することはお控えください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2020年6月30日までの四半期のギリアド社四半期報告書（フォーム10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。